

質問に対する回答について

調査等名) 秋田自動車道 湯田 IC～横手 IC間諸設備詳細設計

質問事項と回答

| 番号 | 質問事項 | 回 答 |
|----|---|--|
| 1 | 可変式道路情報板設備設計について、特記仕様書11頁及び金抜設計書4頁では数量が山内TN（I期線及びII期線）と黒沢TN（I期線及びII期線）各1箇所で合計4箇所と記載されていますが、特記仕様書16頁では山内TNと黒沢TNのI期線には○が記載されていません。山内TNと黒沢TNのI期線は本設計の対象外でしょうか。 | 山内TNと黒沢TNのI期線は本設計の対象外です。別添の正誤表のとおり、設計対象はII期線（対面通行運用時）の4箇所となります。 |
| 2 | 【I基線の設計について】 設計項目一覧表にて可変式道路情報板の設計項目の記載○がありませんが数量は計上されております。既設D板4面移設（II基線流用）I基線改良工事后に、更に2面移設との考えでしょうか。 | 設計対象はII期線（対面通行運用時）の4面であり、I期線改良工事后の2面の移設については本設計の対象外となるため、計上しておりません。 なお、特記仕様書別紙2-2については、別添のとおり修正いたします。 |
| 3 | 【I基線の設計について】 通信設備設計にてトンネル用CCTV設備、移動無線漏洩同軸はI基線改良工事中も既設残置されて改良工事后流用の考えでしょうか。（設計数量計上されていないもの） | トンネル用CCTV設備、移動無線漏洩同軸は、I基線改良工事中は既設残置とし、本設計の対象外となるため、計上しておりません。 |
| 4 | 【設計数量について】 支線誘導灯の7.8kmは、IC間距離との認識ですが上り、下りに設置でしょうか。その場合は、配線距離等は倍になるかと思います。 | 設計数量は、湯田IC～山内PA間の路線延長10.7kmからトンネル延長を除いた距離であり、上下線に設置を想定しております。 また、配線距離等については、設計内での検討内容となり、単純に倍にはならないと想定しております。 |
| 5 | 【明かり部について】 明かり部に設置の施設設備は、4車線化された状態での設計で良いですか。（速度規制標識、非常電話等） | 明かり部の施設設備については、4車線化された状態での設計を想定しております。 |

| 対象 | 特記仕様書 別紙 2-2 設計項目 (電気設備) | | | | | | | | | | |
|----|--------------------------|--|--|---------------|----------------|---------------|----------------|------|------|-----|-----|
| | 別紙-2 設計項目(電気設備) | | 設計項目 | | 単位 | | 設計区分 | | | | |
| 項目 | 内容 | | | 山内TN (I期線) | 山内TN (II期線) | 黒沢TN (I期線) | 黒沢TN (II期線) | 湯田IC | 山内PA | 計 | |
| 誤 | 受配電設備設計 | 高圧受配電設備の設計 (トンネル換気設備有り) | 受電地点・引込方法等の設計 設置容量・電圧等の設計 主回路接続方式の設計 使用主機器の設計 無停電電源装置の設計 配線路の設計 変電室規模の設計 | 箇所 | 1 | | | | | 1 | 1 |
| | | 高圧受配電設備の設計 (トンネル換気設備無し) | 受電地点・引込方法等の設計 設置容量・電圧等の設計 主回路接続方式の設計 使用主機器の設計 無停電電源装置の設計 配線路の設計 変電室規模の設計 | 箇所 | 1 | | | | | 1 | 1 |
| | | 自家発電設備設計 | 自家発電設備の設計 方式・容量の設計 主回路接続方式の設計 使用二機器の設計 相間方式・受電との切換方式の設計 配線路の設計 | 箇所 | 1 | 1 | 1 | | | 2 | 2 |
| | | 送受電設備設計 | 送電機器の設計 送電機器運転設備の設計 | km | | | | 7.8 | | 7.8 | 7.8 |
| | | トンネル照明設備設計 | トンネル照明設備の設計 馬上部照明の設計 入口部照明の設計 非常用照明の設計 強制直路照明の設計 トンネル内管路の設計 電動路の設計 | km | 2.4 | 2.4 | 0.5 | 0.5 | | 5.8 | 5.8 |
| | 可変式道路情報板設備設計 | 可変式道路情報板設備の設計 設置位置の設計 看板・遮断の設計 表示板の設計 配線・電源の設計 | 箇所 | 1 | 1 | 1 | 1 | | 1 | 1 | |
| | | 可変式速度規制標識設備設計 | 設置位置の設計 表示板の設計 配線・電源の設計 | IC間 | ↑ | ↑ | ↑ | ↑ | 1 | 1 | 1 |
| | | 道筋誘導灯 | 視認誘導灯設備の設計 | km | | | | | | | |
| | | トンネル照明設備設計 | トンネル照明設備の設計 馬上部照明の設計 入口部照明の設計 非常用照明の設計 強制直路照明の設計 トンネル内管路の設計 電動路の設計 | km | 2.4 | 2.4 | 0.5 | 0.5 | | 5.8 | 5.8 |
| | | 可変式速度規制標識設備設計 | 設置位置の設計 表示板の設計 配線・電源の設計 | IC間 | ↑ | ↑ | ↑ | ↑ | 1 | 1 | 1 |
| 正 | 受配電設備設計 | 高圧受配電設備の設計 (トンネル換気設備有り) | 受電地点・引込方法等の設計 設置容量・電圧等の設計 主回路接続方式の設計 使用主機器の設計 無停電電源装置の設計 配線路の設計 変電室規模の設計 | 箇所 | 1 | | | | | 1 | 1 |
| | | 高圧受配電設備の設計 (トンネル換気設備無し) | 受電地点・引込方法等の設計 設置容量・電圧等の設計 主回路接続方式の設計 使用主機器の設計 無停電電源装置の設計 配線路の設計 変電室規模の設計 | 箇所 | 1 | | | | | 1 | 1 |
| | | 自家発電設備設計 | 自家発電設備の設計 方式・容量の設計 主回路接続方式の設計 使用主機器の設計 相間方式・受電との切換方式の設計 配線路の設計 変電室規模の設計 | 箇所 | 1 | 1 | 1 | 1 | | 2 | 2 |
| | | 道筋誘導灯 | 視認誘導灯設備の設計 | km | | | | 7.8 | | 7.8 | 7.8 |
| | | トンネル照明設備設計 | トンネル照明設備の設計 馬上部照明の設計 入口部照明の設計 非常用照明の設計 強制直路照明の設計 トンネル内管路の設計 電動路の設計 | km | 2.4 | 2.4 | 0.5 | 0.5 | | 5.8 | 5.8 |
| | 可変式道路情報板設備設計 | 可変式道路情報板設備の設計 設置位置の設計 看板・遮断の設計 表示板の設計 配線・電源の設計 | 箇所 | 1 | 1 | 1 | 1 | | 1 | 1 | |
| | | 可変式速度規制標識設備設計 | 設置位置の設計 表示板の設計 配線・電源の設計 | IC間 | ↑ | ↑ | ↑ | ↑ | 1 | 1 | 1 |
| | | 可変式速度規制標識設備設計 | 設置位置の設計 表示板の設計 配線・電源の設計 | IC間 | ↑ | ↑ | ↑ | ↑ | 1 | 1 | 1 |

1 1 1 1

0 2 0 2